

テーマは
行動

[P2]

私たちが目指す道 2015

ごあいさつ



[P5]

自分でできる 簡易アスベスト診断

～住んでいる家を確認してみよう!!～

新入社員・先輩社員から一言

私が心がけている行動



社員みんなの

ひと工夫報告



[P3]

心に残る 決断と行動

創業者に聞く
過去の経験を未来の知恵に!



2020年東京オリンピック・
パラリンピック開催! vol.1

オオスミも、 オリンピック事業に かかわっています!



[P6]

アンケート「行動」について、 オオスミ社員に 聞いてみました!

新入社員が見た!

先輩社員のすごい行動!

[P7]

私の原動力

副島正純さんからのメッセージ



[P4]

「見えない行動」紹介シリーズ

- 分析の精度管理
- 土壌試料の採取場所
- 計量証明書発行手続き



オオスミニュース

[P8]

- 『環境調査会社 オオスミのブログ』がスタート!
- セミナー体験記 イングリッシュ・イン・アクション!
- オオスミのサービス

私たちが目指す道-2015-

ごあいさつ



株式会社オオスミはおかげさまで第47期を迎えることとなりました。ここまで続けてこられたのは、お客さまからのお仕事のご依頼、暖かなアドバイスのお言葉、そして仕事を通して信頼関係を築くことができたからと感謝しております。また社内に目を向けてみますと、まじめに一生懸命努力をしてくれるオオスミ社員のおかげでここまで成長できたと、私は誇りに思っています。

次の時代に向けて

創業から47年経ち、ある程度の成長も続けてまいりましたが、次はどうなるでしょうか？会社の経営を船に見立てると、しっかりと先を見つめて方向性を示し、社員みんなで目標に向かって航海をしながらも、荒波や予期せぬ出来事にも、一つ一つ対応しなければなりません。そのために、47期は全社一丸となり『行動』という言葉社員と共有したいと思います。そしてお客さま、社外の方におかれましてはオオスミの社員が、きちんと『行動』しているかを是非ご覧いただき、そして見守って欲しいと願っております。

評論家でなく行動家になろう

以前、経営者の座右の銘を本に取りあげると言う企画のお話を頂き、その時に書いたのは『評論家でなく行動家になろう』です。これは自分自身を奮い立たせるために書いた言葉です。ともすると“やらないための言い訳”を探してしまう自分自身の退路を断つつもりで書きました。パソコン画面に向かって言葉を発するのではなく、外に飛び出して手足を動かすのです。考える前に、まず行動してみる。そこから何かヒントが出てくるのが分かったのです。

自分自身の変革のために

これは仕事以外でも、自分を変革させるために非常に役に立っていると感じています。2007年の正月に運動不足と体調不良を感じはじめた散歩がきっかけとなり、長距離ウォーキングに挑戦、100kmウォーキング大会にも毎年参加するようになりました。富士山登山にも2008年から毎年連続で登り、今年の夏は7回目の登頂を成功させることができました。昨年リタイヤしたハーフマラソンも、今年の春には何とか完走することができ、現在はフルマラソン初挑戦に向けて練習を始めたところです。今年富士山に登っている最中に、来年の横浜マラソンの抽選に当選したというメールが来ました。

応援してくれる人たちは大きな財産

こうお話しすると、趣味だから勝手にやればいいじゃないかと思われるがちですが、どちらかと言うと、苦しい事はあまり好きではありません。でも、目標を立て成果を上げると、次のステージに行きたくなるのです。これに慣れてくると、以前のように“やらない言い訳”を並べる必要が無くなるのです。そして行動することで応援してくれる人たちが増えていることも大きな財産と感じます。私でよければいつでも皆さんの『行動』の応援者になります。オオスミの社員は、行動ができる集団、行動が速い集団になれば素晴らしいなと思っております。私も頑張ります！

株式会社オオスミ
代表取締役 大角 武志



新入社員・先輩社員からひとこと

私が心がけている行動

新入社員



学生時代とは異なり、私は常に「時間」を気にして行動するようになりました。学生の頃は時間がたくさんあったため、だらだらと行動してしまう事も多くありましたが、社会人になってからは一つ一つの作業にどれ位の時間がかかっているのかと常に時間に注意して行動するように変化しました。今はまだ時間に追われて毎日過ごしていますが、今後は今よりも効率よく作業を行い、時間に余裕が感じられるようになる事が目標です！

分析技術グループ 澤田 佳織

新入社員



学生時代と社会人では、休日の使い方が一番変わったと思います。大学時代は平日も休日も関係なく好きなことができたのですが、社会人になってからは週二日しかない休日をどのように使うか考えるようになりました。そして、休みの日を有効に使おうとするので、行動的になったと感じます。平日は職場と自宅を行ったり来たりしかできないので、休日はできるだけ色々な場所へ行ってみたいです。

分析技術グループ 日野 愛実

先輩社員



私が心がけている行動は、周りの人からの頼まれ事に対して、どんな事でも「断らず、前向きに引き受ける」という事です。これまで、親睦会の会長や結婚式二次会の司会役など、頼まれ事は何でも引き受けてきました。引き受ける時は不安もありますが、依頼する人が自分に期待を寄せてくれていること、何より経験こそ自分の成長にとって最大のチャンスだと考えているからです。

営業グループ 穴吹 太陽

先輩社員



私が心がけている行動は出かける前に所持品チェックを行うことです。いざ出かけてみたら、使うつもりだったものを家に置き忘れてしまって悔しい思いをした経験が何回もあります。直前に慌てて準備をするのではなく、覚えているときにその場で準備をすすめることを心がけることで忘れ物は減らせます。準備8割、本番2割ですね。

総務グループ 松井 亮介

創業者に聞く

過去の経験を未来の知恵に!

心に残る決断と行動

創業者である大角勝彦の心に残る3つの「行動」を紹介します。当社社員でも知らないこともあります。彼の決断と行動から学び、これから先、私たちが行動すべきことを記します。

行動1 自分で出来ることは自分でやる! ～創業初期の社屋は手作りだった～



社屋建設風景

1968年(昭和43年)、有限会社大角化学は木造一階建ての「手作りの自宅」で始めた。四国から北海道に移り住み、農業で新天地を開拓した元大工の祖父。その祖父に習い、開拓精神も旺盛で、大工仕事も身につけていた大角。起業した当初の社屋も、なんと手作り。自宅の応接間を改造し実験室兼事務室に。更に、その横に倉庫を増築。この倉庫は、大切な営業車の車庫であり、薬品を製造する工場でもあった。無ければ自分で作る! この精神が今のオオスミの原点でもある。

私たちがすべき行動

私たちは、自分達で出来ることは何かを常に考え行動しなくてはならない! お客様に、地域社会に、何かできるかを常に考えて行動しよう!

行動2 生きる為にかむしゃらだった! ～公害分析の開始～

「大角化学」として基幹事業がボイラーの清缶剤販売だった折り、お客様から「化学と言うからには排水分析は出来るだろう?」と言われ、そんな仕事もあるのかと分析業に着手。研究機関から指導も受けた。まさに公害が社会問題となっている時代、1970年(昭和45年)頃から工場排水規制が始まり、薬品を納めていた従来のお客様から水質分析を要請され、分析業務が本格化していった。ここでも手作りの実験台をつくり、ピーカー1個、試験管1本を買い揃えながら、プロパンガスで湯を沸かし、COD、BODの検査を始めた。「一家を養う」為にかむしゃらだったから新しいことに挑戦できた。

私たちがすべき行動

私たちは、新しいことへの挑戦を継承しなくてはならない! 今、かむしゃらに打ち込めることはあるか? 何かに打ち込む先には新しいことへの挑戦が待っている。全社一丸で挑戦し続けよう!

Profile プロフィール

大角 勝彦

1934年(昭和9年)11月、北海道生まれ。東京農業大学進学を機に上京。農業を学ぶも、卒業後は貿易会社の研究要員を経て、鉄工会社の研究部門で公害防止機器プラントの企画に携わる。1968年(昭和43年)に有限会社大角化学を立ち上げ、1992年(平成4年)に現在の株式会社オオスミに社名変更。



行動3 環境の第一線で仕事をする存在に! ～新社屋竣工、社名変更～

1970年(昭和45年)、横浜市瀬谷区北新に新社屋を新築。更に、業務拡張、社員数増加で手狭になり、1992年(平成4年)に現在の工業団地に新社屋を新築。ネットワーク社会、国際化、環境、福祉といった課題が時代の最先端の価値として浮上してきた。それまでは、「公害、環境などと言うと、せっかく経済成長をしようとしているのに、それを抑えることになってしまう」という見解が主流だったが、「環境に配慮した企業であることが、その企業の発展の原動力となり得るのではないか」という考え方の兆しも見えてきた頃であり、環境の第一線で仕事をする存在になりつつあった。横浜市瀬谷区に工業会が発足し、続いて新しく造成された工業団地「横浜インナーパーク」に本社機能を置き現在に至る。社名は株式会社オオスミ。旧名を残したいという社員の希望もあったことが非常に嬉しく、そのまま決定となり、現在に至る。

私たちがすべき行動

私たちは、環境の第一線で活躍することができる。そのフィールドに感謝し、仕事、業務として、環境という分野に関われることを喜びとし、社会に貢献していこう!

創業者である大角勝彦から貴重な「行動」を聞くことができました。古き良き時代ではなく、全てを開拓しなくてはならない厳しい時代であったと思います。厳しさ故の開拓精神、工夫、努力が必須だった時代…。飽和状態に思える現代社会においても、私たちは活躍の場を求めていかななくてはなりません。過去の経験を未来の知恵にすることが、私たちの行くべき行動だと思います。私たち自身が後世に語り継ぐべき「行動」を築き上げて行く番です。

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催! Vol.1

オオスミも、オリンピック・パラリンピック事業にかかわっています!



TOKYO 2020

2013年9月8日、国際オリンピック委員会(IOC)総会がブエノスアイレスで開催され、IOC委員の投票によって東京が選出されました。大会運営力の高さや財政力、治安の良さが評価され、1964年東京開催以来、56年ぶり2回目の選出。72年札幌、98年長野の冬季大会を合わせると4回目の大舞台を迎えます。

「お・も・て・な・し」…あの日、あの瞬間からもう一年が経過しています。実感がない方も少なくないと思われそうですが、6年後に向け

て着実に準備は進められており、既にオオスミも、オリンピック・パラリンピック事業にかかわっています! 大会開催に伴いこれから先、インフラ整備、競技会場及び関連施設の建設や開発が急速に進みます。開発と環境負荷は表裏一体であり、私たちは環境調査会社として、「正しい知識と技術のもと正確な評価を行い、選手及び観客、関係者の安心と安全を確保する」ことを行えたら素晴らしいと考えております。また、一市民として、日頃から美しい街づくりに尽力し、日本の歴史や文化を学び直し、語学力を磨き、来日される諸外国の皆さんに積極的にふれあい、そして、もてなすことで、大会を、東京を、日本文化を堪能して頂くことも大切な役割だと考えています。



「見えない行動」紹介シリーズ

いつもはお客様には見えない社員のアクション。ちょっと覗いてみませんか？

「分析の精度管理」、「土壌試料の採取場所」、「計量証明書発行手続き」について紹介します。



オオスミキャラクター(非公認)

しまもん

「自己紹介」

好きな食べ物：ガリガリ君、グミ
好きな芸能人：深田恭子

分析の精度管理



分析結果の妥当性を評価するために日頃から取り組んでいることを紹介するよ!!

操作ブランク



使用している器具が汚染されていないかチェックしているよ!

添加回収試験



分析操作の正確性をチェックしているよ!

安定性試験



測定機器の安定性をチェックしているよ!



年に数回外部精度管理も行っているよ!

土壌試料の採取場所

硬い!!!



急傾斜!!!



雪の中!!!



滑りやすい!!!



狭い!!!



難所!!!



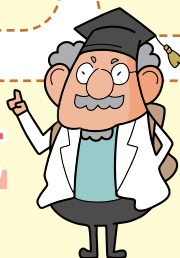
穴を掘っていると地下水がでてくことも! 大変ですな!



道路の真ん中!!!



計量証明書発行手続きについて



計量証明書発行の流れを紹介するよ!

1 受付入力

迅速かつ慎重に



依頼内容をパソコンに入力!

2 指示書配布

私の願い みんなに届け!



分析内容を技術者に伝えます!

分析終了後

3 環境計量士のチェック!

私に捌けない分析値はこの世にはない!



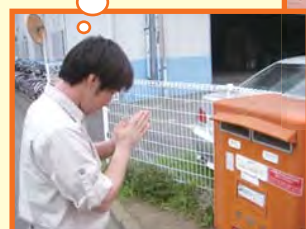
試験結果の妥当性を確認します!

これが噂の主任計量士 小谷チェック!!



6 発送

きちんと届きますように!



計量証明書をお客様に発送!

計量証明書 完成!

5 発行

あとひと踏ん張り



計量証明書を発行します!

4 速報

どきどきするなー



お客様に分析結果(暫定値)を報告!

※入社8年目の下山がしまもんのモデルです

住んでいる家を確認してみよう!! 自分でできる 簡易アスベスト診断

「アスベストって何?」

良く知られている言葉ですが、自分の住んでいる家には「アスベスト」があるかどうか?あるとどうなるか?ご存知ですか?アスベストはそこにあること自体が直ちに問題になるわけではありません。飛び散ること、吸い込むことが問題となります。正しい知識で正しい対処をしましょう!!



アドバイザー



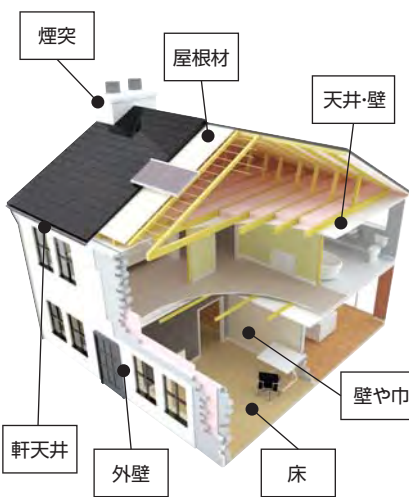
石綿作業主任者
アスベスト診断士
建築物石綿含有建材調査者

加藤 雅信

累計実績500棟以上
目視調査のエキスパート!!

あくまでも簡易診断です。詳しい情報をお知りになりたい方はオオスマのHPまたは厚生労働省HP「アスベスト情報」、各自治体のHPをご覧ください。

アスベストが使用されている可能性のある場所



START!

お手元に家の契約書をご用意ください!それではスタート!



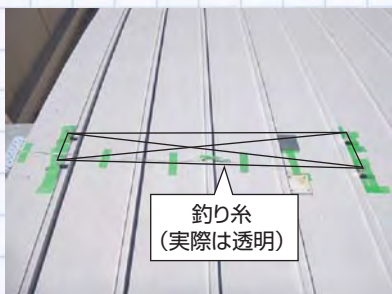
社員みんなの ひと工夫報告

「ひと工夫報告」とは、業務遂行時における課題の克服や、業務改善等を半期毎に1頁のレポートとして報告し、これらを水平展開するナレッジマネジメントの実践活動です。毎年、選別された「ひと工夫報告」の発表会と表彰を行っています。

✓ 建物屋上測定時のカラス対策のひと工夫

釣り糸で効果抜群!!

ある省エネ実証実験において屋上の温度を測定するため、屋上に温度センサーを設置していたところ、カラスによりセンサー等を破損される問題がありました。センサーは養生テープで固定していましたが、養生テープは破られ、センサーが噛み切られていたことから、カラス対策が急務でした。当初はカゴで覆うことを考えましたが、センサーに影が出来てしまい、測定結果に影響を及ぼすことが想定されました。様々な資料を調べた結果、カラスは釣り糸のように見えないものに引っかかると、その場所に寄り付きにくくなるという情報が得られ、そこで測定地点に透明の釣り糸を張り巡らす対策を行いました(カラスの胸付近に相当する高さに設置)。対策の結果、その後カラスが温度センサーやケーブル接続部を破損させようとした形跡は認められませんでした。



釣り糸
(実際は透明)



実施者K.S氏ひとこと

最初はトラブルの原因がわかりませんでしたが、周囲にカラスが多いため、破損状況からカラスが原因ではないかと考えました。大掛かりな方法を取らずに、アイデアを使い低コストで対策ができました。

✓ 地歴調査資料のとりまとめのひと工夫

ファイリングのコツ

地歴調査では、様々な業種の有害物質に関する資料収集を行っています。調査地に関するヒアリングができない場合、これら資料を基に懸念物質の抽出を行います。しかし、調査では「物質」から「業種」を絞り込む場合と、「業種」から「物質」を絞り込む場合があり、過去にも一覧表等で情報の整理を行いました。しかし、使い勝手の良いものではありませんでした。

この問題を解決するため、ファイルの一方を「物質別」パートとし、ファイルをひっくり返し、逆面を「業種別」パートとする両引き資料の作成を行いました。(例:「印刷会社でのトリクロロエチレン汚染事例」の資料を、物質別パートの「トリクロロエチレン」の項と業種別パートの「印刷業」の項にそれぞれ綴じる。)これにより、一冊の資料で「業種」「物質」からそれぞれ絞り込めるようになりました。



実施者T.O氏ひとこと

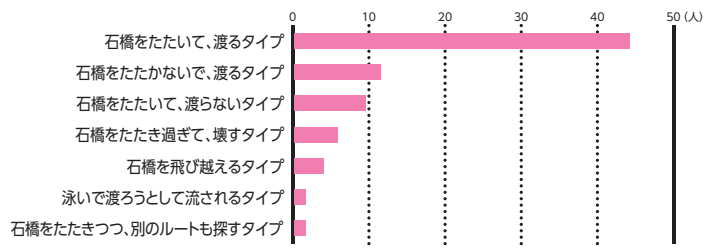
同じ資料を2つのパートに綴じるため、ひと手間増えますが、その後の検索性は大きく向上しています。一覧表では情報を転記していましたが、この手法では資料の原紙を綴じるため、出典元が明確になります。

緊急アンケート!

「行動」について、オオスミ社員に聞いてみました!

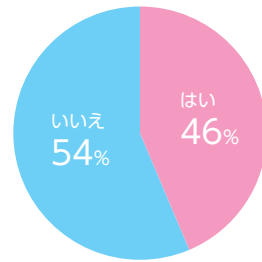
オオスミ社員に今回のテーマである「行動」に関するアンケートを実施。どんな意見が出てくるでしょう?

Q1. 何か行動をしようとする時、どのようなタイプ?



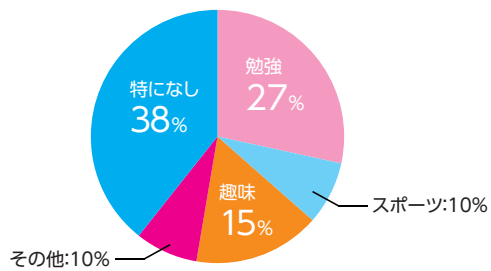
慎重派の人が多いようです。しかし中には大胆で超行動派の人もいますね。

Q4. 積極的に資格を取得しているか?



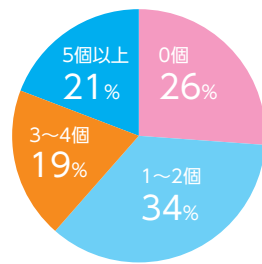
半数近い人が色々な資格に挑戦しているようです。

Q2. これから新しく始めてみたいことはあるか?



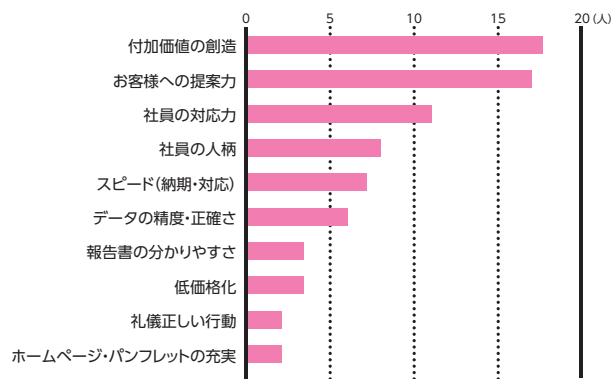
これから何かをやってみようという人は多いようです。多い回答は、資格の勉強や運動などでした。変わったところでは、「自分の手で小さな家を建てること」、「資産運用」、「睡眠時間6時間の確保」、「オフグリッド太陽光発電システム作り」や「ロケットストーブ作り」という回答もありました。

Q5. 国家資格の所持数は? ※運転免許除く



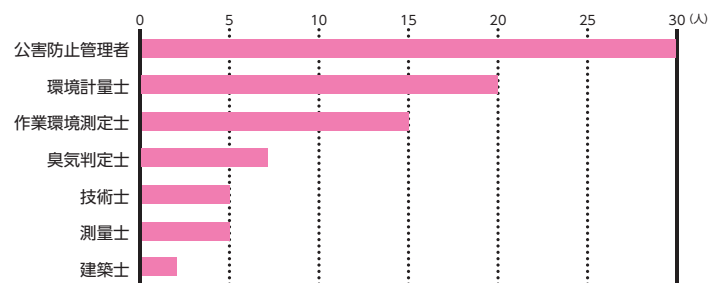
約3/4の人が国家資格を持っていて、5人に1人が5個以上の資格を持っているようです。

Q3. 会社の価値を生む行動として、最も重要だと思うものは?



もちろんすべて大事なことなので意見が分かれていましたが、中でも「付加価値の創造」や「お客様への提案力」が大事と考えている人が多いようです。

Q6. 持っている国家資格は?

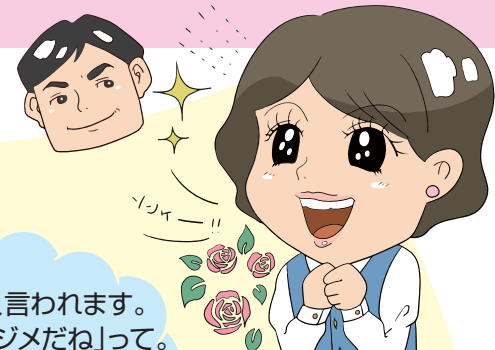


業務に関係する資格はグラフの通り。その他、色々な資格を挙げていただきましたが、変わったものを紹介。潜水士(3名)、ファイナンシャルプランナー、栄養士、大型2種免許、けん引免許…等

新人社員が見た!

先輩社員 のすごい行動!

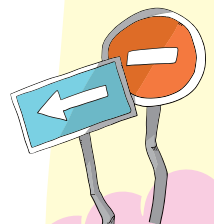
尊敬! 偉大! 憧れ!



出退勤時、いつも大きな声で先輩から挨拶してくれます。5年も続けているらしい。毎日なので結構スゴイ。

65歳を超えてもソフトボール部で活躍されている方がいます。

得意先の方からよく言われます。「オオスミの人はマジメだね」って。確かに、分析速報日の約束も厳守が徹底されています。



現場に行くことが多くなりましたが、先輩社員と一緒にいくと、いろいろな近道や細い道を知っていてすごいと思いました。

地質についての知識が素晴らしく、様々な場所での地質の質問に対し、特に資料を見ることもなく回答してくれる知識の深さに驚嘆しています。また知識欲が深く、多くの引き出しを持っていることがすごいと思います。



営業鞆がまるで登山用リュックサックのように大きな先輩がいます。大きさだけでなく、重さも大迫力。いつでも対応出来るだけの資料が入っていて、さすが!でも、私がおその鞆を持ったら肩が外れると思います。

うちのグループの大先輩は、雨の日でも毎日会社の外回りを掃除しています。まさに人間の鑑です。

message

副島正純さんからのメッセージ

私の原動力

パラリンピックアスリートとして、毎日追い込める原動力は何ですか?とよく聞かれますが、私には、「これだ!」と思えることは特にありません。しいて言うなら、「自分の存在価値を認めて欲しいから」なのだと思います。

絶望の淵から、サラリーマン生活へ

怪我をして、「一生車いす生活です」と言われたとき、絶望の一言で目の前が真っ暗になりました。そんな中、只一つ楽しいと思えたものは、リハビリ感覚で体験したスポーツでした。今後の自分の人生を考えることもなく、不安を忘れ、車いすで動けることがただただ嬉しくて、夢中で走り回りました。しかし現実からは逃れることは出来ません。生きるために、生活の為に就職。

残業が当たり前な日本のサラリーマン環境に、私にとってスポーツは、一時的なストレス発散の場所になりました。残業の後、少しでも走ることが、私の自由な時間であり明日へのモチベーションでした。そんな不完全燃焼で不満の生活の中で、このままで良いのか?という「人生への後悔」の不安が常に心の中にありました。

「車いすアスリート」目指し、動き出す

そんな私に転機が訪れたのは、2000年シドニーパラリンピック。TVでの放送を見たときに「このまま終わりにたくない、挑戦し完全燃焼したい」と思い環境を変えることを決断しました。

まずは練習時間を確保するために、正社員からパートタイマーへ変更を願い、早めに退社しトレーニングに集中しました。しかしその分給料は減り、食べることが精一杯で遠征へは行けない事もありました。その環境から少しずつ結果を出し、少しずつ好条件での環境を手に入れ「車いすアスリート」としての存在を認めてもらえるよう努力しました。

しかし、当時車いすプロアスリートなど日本では難しく、今以

上に障がい者スポーツの認知度はありませんでした。でも走ることは楽しくて大好きだから「人生を後悔しないよう、自分の思う道を進もう、自分らしく!」そう思いました。

苦悩する生活の中で、私を救った言葉

競技と生活の両立に苦悩しながら活動し7年後の2007年、私はある人の一言で全てを救われました。当時小学4年生の少年で、彼は幼少期に病気で手術をし、弱視。その彼が私のレースを観て「僕もこんなに強くなれるかな!」と言い、「僕はサッカー選手になる」と殆どない視力でサッカーボールを蹴りだした。そんなメッセージを頂きました。

「辛い環境だったけど、走ることを辞めなくて良かった、やり続けて良かった」と思いました。そして、私は走ることを通して元気を伝える事が出来る、そこに自分の存在価値があると認めてもらった気がした一言で、とても嬉しかった。

全国の車いすアスリートのために

今年、一般社団法人ウィルチェアアスリートクラブ ソシオ SOEJIMAを設立しました。車いす競技に特化したアスリートチームで、選手の育成・養成を目的としています。運営は、企業の法人会員、個人会員様からのご支援で行っています。今選手は、私を含め車いす陸上選手4名。2020年東京パラリンピックへの出場が目標です。

私が経験してきた活動環境への苦悩は少なく、競技をやることの感動は多く、今後この選手たちに経験してほしいと思います。

2020年に50歳になる私ですが、常に自分らしく、自分の存在価値を高め、自分の居場所をみつめて頑張ります。これからも、ご支援ご協力、応援をよろしくお願いいたします。



アテネ パラリンピック銅メダリスト 副島正純 氏

1970年生まれ。23歳の時、家業である鉄工所を手伝い中に鉄板落下の事故により脊髄を損傷し、車いすの生活となる。入院中に障がい者スポーツと出会い、障がいをもった自分に自信を取り戻すことができ、スポーツの楽しさに魅了される。2000年より本格的に世界を目指し陸上競技活動を開始し、3大会連続パラリンピック出場を果たす。2007年より、毎年ワールドメジャーマラソン大会に出場。ボストンマラソン、ニューヨークシティマラソン、ベルリンマラソン、東京マラソンなどの多くのワールドメジャーマラソン大会で優勝。ホノルルマラソンは2005年から6連覇。2013年も優勝。2014年からは、自身も世界トップアスリートとして活動しながら、次世代の子供たちのために一般社団法人を立ち上げ、子供たちがパラリンピックを目指せるような競技環境の提供と指導を行いながら、子供たちのチャレンジをサポートしている。また競技以外にも、講演会の講師や車いすマラソン大会のレースアドバイザーとしても活躍中。



副島正純ホームページ:<http://www.m-soejima.com/>
副島正純ブログ:<http://star.ap.teacup.com/soejima/>

一般社団法人ウィルチェアアスリートクラブ ソシオSOEJIMA

現役パラリンピックアスリート副島正純が、「日本の選手もジュニア時代から競技に集中して取り組み、世界で戦える選手に成長してほしい!」という思いからクラブチームを設立しました。チームリーダーは副島正純。若い選手は育成アスリートとして所属し、チーム一丸となって切磋琢磨し、世界で戦える強い選手を目指します。「スポーツでひとつになる」のスローガンのもと、競技をする選手も応援して下さる方々も、一緒にスポーツを楽しみ、感動できるクラブチームです。そして我々、ソシオSOEJIMAは、2020年東京パラリンピックを目指します!!ソシオSOEJIMAの選手全員が東京パラリンピックのスタートラインにつけますよう、ご支援をよろしくお願いいたします。



株式会社オオスマは、2020年東京パラリンピックを目指す副島選手を、ソシオSOEJIMAを通して応援しています。弊社社長の大角とは個人的にも親交があり、その生き方、チャレンジ力、行動力を見習いたいと、自らのブログでもインタビュー記事を掲載しています。

<http://osumi.jugem.jp/?eid=382>

News 01

オオスミニュース

『環境調査会社 オオスミのブログ』がスタート!

「社長ブログ」・「技術者のびっくり箱」改め、全部署参加のブログに生まれかわりました。



会社の紹介 会社の雰囲気 面白い発想・発見 社員の人物 社員の思い

『環境調査会社 オオスミのブログ』
<http://www.o-smi.co.jp/blog/>
 ぜひご覧ください!!

News 02

セミナーレポート

イングリッシュ・イン・アクション!

8月中旬、「イングリッシュ・イン・アクション」という英語教室がオオスミ東京支店にて開催されました。



まずは先生からクイズを交えて自己紹介。出身地はどこか、何が好きかなど簡単なクイズですが、すべて英語での会話です。その後は参加者が輪になって英語で自己紹介をしたり、椅子取りゲームなどをしながら英会話をするというもので、終始和やかな雰囲気でのセミナーとなりました。

普段は英語を話す機会もないので最初は戸惑いもありましたが、失敗を恐れず英会話を楽しんでくださいという先生の思いも伝わり、数分も経てば皆さん笑顔で会話していました。

英語が苦手な人は単語や文法が分からず、英語を話すことを怖がってしまうと思いますが、まずは文法などを無視して、「英語を楽しむ! 英語に触れる!」ことが大切だと感じました。このような英語教室に参加したことで、英語の苦手意識が少なくなったように思います。(レポート: 竹内 亮)

オオスミは環境のエキスパートです。
オオスミのサービス



安全・安心な環境を創り続けます
o-smile
株式会社オオスミ

お気軽にお問い合わせください。

本社
 〒246-0008
 横浜市瀬谷区五貫目町20番地17
 TEL: **045(924)1050**(代)

東京支店
 〒101-0064
 千代田区猿樂町2丁目1番14号 A&Xビル5F
 TEL: **03(3219)5021**(代)

Yahoo!, Googleにて

オオスミ

と入力・検索してください。

編集後記

へんしゅうこうき

- 活気あふれる編集現場と前号の編集者をはじめとする社内外の人達の協力によって、楽しくスムーズにつくる事が出来ました。みなさんに感謝!(編集長 Y.T)
- 創刊号の「産みの大変さ」から一転、楽しい雰囲気の中で制作できました。(T.W)
- 今回のテーマは「行動」。行は十字路の象形、動は重いものを力... 編集作業ってやっぱり「迷ったり」「力が入ったり」ですね。(T.H)
- 校正係のはずなのに、気がついたら書記になっていました。議論が活発だと書記は大変です。(K.F)
- 日頃から耳や目にする作業が実は大変なことだったのだと、新しい発見がありました。自社を見つめ直すきっかけとなり、とても良い経験となりました。(K.N)
- 初めての編集作業は大変でしたが、形になると達成感がありますね。多くの人に読んで頂けると嬉しいです。(R.T)
- 「前号より良いものを!」と意気込みましたが、いかがでしょうか?(T.S)

? オースマイルって?

o-smile は造語ですが、分解すると「o」と「smile」に分けられます。この「o」は株式会社オオスミの頭文字。「smile」は字のごとく笑顔です。Oのsmile、つまり私たちオオスミで働く人間は、常に心に笑顔を持っていたいと願う心からこのような名前になりました。

